



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ライトアップ 上場取引所 東
 コード番号 6580 URL http://www.writeup.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨 TEL 03-5784-0700
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,095	9.4	677	155.1	684	147.9	445	249.1
2025年3月期第3四半期	2,829	54.2	265	232.7	276	251.4	127	221.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 447百万円 (284.6%) 2025年3月期第3四半期 116百万円 (213.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	87.02	86.90
2025年3月期第3四半期	24.78	24.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,138	3,475	84.0
2025年3月期	4,185	3,120	74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,475百万円 2025年3月期 3,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	12.4	751	4.3	738	1.8	513	5.9	99.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	5,806,000株	2025年3月期	5,806,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	681,384株	2025年3月期	683,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	5,122,863株	2025年3月期3Q	5,153,220株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に個人消費や設備投資の持ち直しがみられた一方で、物価上昇の継続や米国の通商政策などの動向等による影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念に基づいて各事業に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,095,722千円（前年同期比9.4%増）、営業利益は677,680千円（同155.1%増）、経常利益は684,644千円（同147.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は445,798千円（同249.1%増）となりました。

なお、当社グループは、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、「Jコンサル」に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供開始時期が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請締切が集中すること等に起因いたします。また、コンテンツ制作においては、12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

AIソリューション事業におきましては、より一層安定的な成長基盤を確立するため、これまで「Jコンサル」、「Jシステム」、「JDネット」などの各サービスにおいて培ってきた中小企業支援の実績を基盤として、AIを活用した新たな経営支援サービスの開発と提供を進めており、特に「AI活用研修」、「AIエージェントパッケージ」、「AI SaaS」、「AI運用代行(BPO)」、「AI開発支援」の5つの領域を中心に、企業の人材育成から業務自動化、運用定着までを一貫して支援する体制の構築に注力致しました。当第3四半期連結累計期間は、営業分野・人事分野における自動化支援が好調に推移するなどAI領域サービスの受注が順調に拡大し業績に貢献致しました。

この結果、同セグメントの売上高は2,895,343千円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益は882,103千円（同98.7%増）となりました。

その他におきましては、業種や規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作の受託サービスを展開しているコンテンツ事業において、市場環境の変化に合わせてサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間は、受注が低調であったことから減収となりましたが、原価その他諸経費の削減に努めた結果、増益となりました。

この結果、同セグメントの売上高は200,378千円（同2.9%減）、セグメント利益は23,765千円（同37.4%増）となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましても、第1四半期連結会計期間から記載を変更しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」をご覧ください。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,653,132千円となり、前連結会計年度末と比べ87,242千円減少致しました。これは主に、現金及び預金が41,534千円、流動資産のその他に含まれる前払費用が8,131千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が127,715千円減少したことによるものであります。固定資産は485,232千円となり、前連結会計年度末に比べ39,681千円増加致しました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる長期未収入金が62,577千円、投資有価証券が25,387千円、有形固定資産に含まれる建物附属設備が13,107千円増加した一方で、資産の控除項目である貸倒引当金が62,683千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,138,365千円となり、前連結会計年度末に比べ47,560千円減少致しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は660,310千円となり、前連結会計年度末に比べ401,403千円減少致しました。これは主に、契約負債が281,494千円、未払法人税等が91,604千円減少したことによるものであります。固定負債は2,748千円となり、前連結会計年度末に比べ1,301千円減少致しました。これはリース債務が1,301千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は663,059千円となり、前連結会計年度末に比べ402,705千円減少致しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,475,305千円となり、前連結会計年度末と比べ355,145千円増加致しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益445,798千円及び剰余金の配当92,211千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.0%（前連結会計年度末は74.5%）となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,722,706	2,764,241
受取手形及び売掛金	954,260	826,544
商品	1,369	814
仕掛品	3,813	4,241
貯蔵品	457	390
その他	66,625	78,684
貸倒引当金	△8,857	△21,784
流動資産合計	3,740,374	3,653,132
固定資産		
有形固定資産	9,312	26,128
無形固定資産		
のれん	83,828	76,643
その他	166,917	158,688
無形固定資産合計	250,746	235,332
投資その他の資産		
その他	329,013	429,977
貸倒引当金	△143,521	△206,205
投資その他の資産合計	185,491	223,772
固定資産合計	445,550	485,232
資産合計	4,185,925	4,138,365
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,277	25,074
未払法人税等	222,828	131,223
契約負債	487,184	205,690
その他	300,424	298,322
流動負債合計	1,061,714	660,310
固定負債		
リース債務	4,050	2,748
固定負債合計	4,050	2,748
負債合計	1,065,764	663,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	2,862,514	3,215,304
自己株式	△416,917	△415,859
株主資本合計	3,136,259	3,490,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,099	△14,800
その他の包括利益累計額合計	△16,099	△14,800
純資産合計	3,120,160	3,475,305
負債純資産合計	4,185,925	4,138,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	※ 2,829,033	※ 3,095,722
売上原価	595,284	414,798
売上総利益	2,233,748	2,680,923
販売費及び一般管理費	1,968,095	2,003,242
営業利益	265,652	677,680
営業外収益		
受取利息	206	2,672
助成金収入	2,600	1,978
補助金収入	7,806	3,821
その他	1,160	1,087
営業外収益合計	11,772	9,558
営業外費用		
支払手数料	440	660
投資事業組合運用損	-	1,535
その他	787	399
営業外費用合計	1,228	2,595
経常利益	276,197	684,644
特別損失		
投資有価証券評価損	1,500	-
特別損失合計	1,500	-
税金等調整前四半期純利益	274,697	684,644
法人税、住民税及び事業税	152,555	252,406
法人税等調整額	△5,544	△13,560
法人税等合計	147,010	238,845
四半期純利益	127,686	445,798
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,686	445,798

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	127,686	445,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,433	1,298
その他の包括利益合計	△11,433	1,298
四半期包括利益	116,253	447,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,253	447,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計
	AIソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	1,785,872	206,366	1,992,239
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	836,793	—	836,793
顧客との契約から生じる収益	2,622,666	206,366	2,829,033
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,622,666	206,366	2,829,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,622,666	206,366	2,829,033
セグメント利益	444,022	17,296	461,318

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	444,022
「その他」の区分の利益	17,296
全社費用(注)	△195,666
四半期連結損益計算書の営業利益	265,652

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計
	A I ソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	2,134,263	200,378	2,334,641
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	761,080	-	761,080
顧客との契約から生じる収益	2,895,343	200,378	3,095,722
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	2,895,343	200,378	3,095,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,895,343	200,378	3,095,722
セグメント利益	882,103	23,765	905,868

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	882,103
「その他」の区分の利益	23,765
全社費用(注)	△228,187
四半期連結損益計算書の営業利益	677,680

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「コンテンツ事業」について重要性が低下したため、「その他」の区分に分類して記載する方法に変更しております。

また、「DXソリューション事業」については「AIソリューション事業」に名称変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	30,205千円	38,236千円
のれんの償却額	7,185	7,185

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 売上高の季節的変動

当社グループの売上高は、AIソリューション事業において公的支援制度申請支援サービスに関して申請期限が迫る3月が最需要期となること、また、コンテンツ事業において12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向があることなどにより、下期に偏重する季節的変動要因があります。